

## 平成29年度串木野国家石油備蓄基地総合防災訓練の実施について

10月20日（金）、串木野事業所において、鹿児島県石油コンビナート等防災計画に基づき鹿児島県主催による平成29年度総合防災訓練が行われました。

訓練は『甌断層帯を震源とする震度6弱の地震が発生した。地震に伴い、串木野地区に大津波警報が発令され緊急避難する。』、『市来断層帯を震源とする震度7の地震が発生した（津波の影響はなし）。その後、基地施設内においてスロップタンク122受入れ配管フランジ部より油が漏洩し、防油堤から流出。また、漏れた油に何らかの原因で着火、火災が発生した。』、『TK-101 竖坑上部室内でガスが発生し、作業中の事業所員1名が酸素欠乏及び転倒時に足を骨折した。』、『鹿児島県防災本部からの緊急要請により、上空偵察中の県消防・防災ヘリコプターは負傷者1名を収容し、第3次医療機関への緊急搬送を行う。』との想定で行い、防災関係諸機関（鹿児島県、鹿児島県防災航空センター、いちき串木野市、いちき串木野市消防本部、いちき串木野市消防団、いちき串木野警察署、薩摩川内市消防局、日置市消防本部、串木野海上保安部、鹿児島労働基準監督署、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構串木野国家石油備蓄基地事務所、12機関、総勢約150名、訓練車両18台、防災ヘリ1機）と連携した、緊迫感のある訓練を実施しました。



緊急避難訓練



自衛防災本部設置訓練



土嚢構築訓練



救護訓練



救急搬送訓練



消火延焼防止訓練（一斉放水）